



(ふりがな) なごや あいちのめぐみつたえたい!

チーム名:

NGY 愛知の恵みつたえ隊!

構成メンバー

名古屋学芸大学: 吉川真鈴・高田涼太・犬飼凌輔
名古屋ユマニテク: 曾根優杜・嶋田優奈・柴田杏奈

材料 (2 人分)

(酢飯)		(あさりの豆味噌煮)	
ご飯	360g	あさり	80g
すし酢	36g	豆味噌	2g
白ごま	4g	みりん	10g
		普通酒	5g
		出汁	20g
(金目鯛のそぼろ)		大葉	1g
金目鯛	80g	(卵そぼろ)	
生姜	2g	コーチン卵	60g
醤油	2g	食塩	0.1g
上白糖	3g	上白糖	3g
普通酒	4g	ほうれん草	70g
出汁	20cc	サラダ油	10g
		(青さ寒天シート)	
		出汁	150g
		寒天粉	1.5g
		青さ・菊の花びら	0.1g
		(トッピング)	
		そら豆	2 個
		出汁	5 cc
		アカシャ海老	2 尾
		食塩	0.1g
		鶏卵	1 個
		赤味噌	0.5g
		上白糖	0.5g
		マヨネーズ	1g
		のり	0.1g
		デンブ	1g
		(しらすチップ)	
		しらす	2g
		卵白	少々
		揚げ油	200cc

2 人分の値段 1,250 円

※材料費は 2 人分で 2,000 円以内です。

レシピタイトル

愛知の恵みぎゅっと、宝箱寿

アピールポイント

宝箱の中には、愛知の浅瀬と深瀬の魚介をたっぷり詰めました。浅瀬、深瀬を同時に味わえるのは愛知の海の特徴です。寒天は、三河湾の海面を表現しており、愛知の豊かな恵みを贅沢に味わえる、ワクワクするような一皿に仕上げました。あさりの豆味噌煮には、愛知の豆味噌を使用。豆味噌は、栄養価が高く、元気の素として、戦国武将たちにも愛された食材です。現代の子どもたちにもこのエピソードとともに、愛知の豆味噌の素晴らしさを伝えたいです。

使用した愛知県産の食材 (応募条件に書かれているもの 2 つ以上。)

アサリ、金目鯛、アカシャ海老、しらす、そら豆、うずら卵
名古屋コーチン卵、豆味噌、大葉、米(あいちのおり)、あおさ

作り方

- 炊いたご飯に、すし酢・白ごまを加え、酢飯を作る。
- 鍋に出汁・普通酒・上白糖・醤油・おろし生姜を加え沸騰させ、金目鯛を入れて煮詰めそぼろを作る。
- 卵をとき、食塩・上白糖を混ぜ合わせ鍋を熱し、そぼろを作り、ポイルしたほうれん草を刻みサラダ油で炒める。
- 鍋に出汁・普通酒・みりんを加え沸騰させ、あさりのむき身と豆味噌を加え煮詰め粗熱をとり、刻んだ大葉と合わせる。
- 寒天粉を出汁で溶き、沸騰させ粗熱をとり、あおさを合わせ、バットに流し冷蔵庫で冷やし固め、4.5 cm角に切る。
- 鶏の卵水煮は豆味噌・上白糖・出汁で合わせ一晩漬け、1/2に切る。そら豆は塩茹でして出汁に漬ける。アカシャ海老は掃除して 170°C の揚げ油で唐揚げにして軽く塩をする。しらす・卵白を合わせ、熱したフライパンにシート状のせて焼き、しらすチップを作る。ピックの形にカットする。
- 9 cm角セルクルに①の酢飯 1/3、④のあさり佃煮、酢飯 1/3、③の卵そぼろとほうれん草、残りの酢飯 1/3、②の金目鯛のそぼろを敷き、押し寿司にして、4 等分に切り分ける。⑤の寒天シートを乗せ、菊の花びらを散らす。それぞれトッピングをする。鶏卵は、マヨネーズで固定する。

